

議会だより

2010.7.26

発行：福島県西会津町議会

編集：議会広報特別委員会

にしあいづ No.110



- 6月議会定例会の内容は・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 議員提出、和太鼓事業予算削減案可決・・・・・・・・・・ 2
- 7月から一時保育事業を実施・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 国保税率変更！平均では税額が減に・・・・・・・・・・ 5
- ここが聞きたい！一般質問11人が登壇・・・・・・・・・・ 6
- ブログが人気！斎藤優貴子さんにインタビュー・・・・・ 12

「お母さん、一緒に走れて、うれしいよ」 奥川健康マラソン大会 宝川 渡部敦子さん・羽瑠くん^{はる}

補正予算を修正

費等を削減－

6月定例会

平成22年6月議会定例会を6月11日から16日まで、6日間の会期で開きました。

提出された議案は、保護者の都合が一時的に悪い場合に、保育所で子どもを預かる「一時保育事業」を実施するための条例の制定や、国民健康保険税の税率を改正するための条例改正、平成22年度一般会計補正予算など町提出の8件と、議会基本条例調査特別委員会を設置する議員提出議案1件で、

補正予算

6月議会定例会に提出された補正予算は、年度の初めの時期であり、一般会計補正予算のみで、金額も67万円の増額補正と小幅でした。

その主な内容は、3月議会定例会で町長が、6月議会で補正することを明言していた「創作和太鼓創設事業」にかかる経費（384万円の減額）や、学校医の退職に伴う退職慰労金42万円、自治区の

集会所改修経費の補助金29万円、財政調整基金積立金（貯金）285万円の計上などです。

この原案に対し、武藤道廣、長谷沼清吉、清野佐一、渡部昌、荒海清隆、多賀剛、目黒一、五十嵐忠比古の8議員から「創作和太鼓創設事業」にかかる練習用和太鼓の購入経費と和太鼓講師の謝礼の一部を削減する修正案が提出され、賛成8、反対2、棄権3で原案のとおり可決しました。

なお、その他の部分については、町提出のとおり可決しました。

平成22年度一般会計補正予算を除く議案を、原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算では、「創作和太鼓創設事業」の練習用和太鼓購入経費と和太鼓講師の謝礼を一部削減する修正案が、武藤道廣議員ほか7名の議員から提出され、原案のとおり可決しました。

一般質問では、11人と多くの議員が質問し、町の考えや対応を問いただしました。

清野佐一議員

自治区への補助金29万円についてもっと詳しい説明を。

総務課長

自治区の集会所改修にかかる補助金で、2自治区への補助金である。改修経費の4割を町が補助する。

清野佐一議員

「創作和太鼓創設事業」について問う。

会員の募集はいつころまでに行うのか。参加する人がいることを確認してから事業を実施すべきではないか。

教育長

新しい文化を創造する事業では、何月何日と日にちを区切って会員を募集するような手順はその趣旨にそぐわない。

11月の「文化と産業祭」かその前に一度、和太鼓のイベントを行い、その魅力を知ってもらうって、関心や興味のある方に手を上げてもらうようには考えている。

その後、翌年度当初予算を議会に議決してもらって、曲の作曲依頼など4月から本格的に事業を実施したい。

議会、和太鼓事業の

— 練習用和太鼓購入



武藤道廣議員

「創作和太鼓創設事業」について、修正案を提出する。

3月議会定例会で、議員から「不景気などの折から事業の実施にあたっては、十分検討してほしい」旨の意見があった。それに対し町長は「事業を実施するかは未定であり、平成22年度は調査にあて、6月議会で予算を補正する」旨の答弁をした。

修正案の説明

しかし、今回提出された補正予算案に練習用和太鼓の購入費など、実施を前提とした内容が含まれている。

したがって、調査に必要な部分を残し、予算を減額するものである。なお、減額は、財政調整基金（貯金）に入れる。

討論

修正案反対 長谷川徳喜議員

この修正案の提出は、町長と議員の感情的なものが原因である。すなわち、全員協議会において町長が議員に対して発した「この事業に賛成してもらわなくてもよい」旨の発言が原因である。このような感情的なことで修正案を提出すべきではない。

修正案賛成 長谷沼清吉議員

町長は3月議会定例会で私が提案した「平成22年度は事業効果などの調査を行い、活性化が図られるような結果が出たら、平成23年度予算に事業費を計上し実施すべきだ」という意見に同意する答弁をしていた。

議会の場で発言したことは守るべきである。

賛成 8 ・ 反対 2 ・ 棄権 3 で修正案は可決！

条例

一時保育事業を実施

7月から



料金は1日千円

「一時保育事業」は保育所に入所していない満1歳以上の子どもを、保護者の都合が悪く、育児ができない場合に、一時的に保育所に預けることができる制度です。

この制度の具体的な内容は次のとおりです。

利用できる場合

- 病気・けが・介護・出産・冠婚葬祭等の理由で保育できない場合
- 育児による心理的・身体的負担を解消したい場合
- 仕事の都合で一時的に育児ができない場合など

保育料

- 住民税または所得税課税世帯→1日千円
- 住民税非課税世帯→1日300円

○生活保護世帯→無料
※半日利用の場合は半額

実施場所

○芝草保育所

利用申請

利用する場合は、事前に町役場（健康福祉課福祉介護係）への申請が必要です。

長谷沼清吉議員

里帰り出産等、住民票が西会津町にない人でもこの制度を利用できるか。

健康福祉課長

条例に規定する事由に合致すれば住民票が西会津町になくても利用できる。

清野興一議員

(1) 対象を0歳児からしなかつた理由は、(2) 条例に規定している「保育料を特別に免除

できる場合」の具体的な理由は、

- (3) 保育料を免除できる具体的な理由を規則に明記する考えはないか。
- (4) 非課税世帯の保育料を1日300円とした理由は、
- (5) 保育所に預けられない児童は町内にどれくらいいるか。

健康福祉課長

(1) 0歳児の通常保育は、国の施設基準を満たしている野沢保育所で行っているが、野沢保育所は定数に近い児童を通常保育で預かっている。

一時保育は、定数までに余裕のある芝草保育所で行う予定であり、芝草保育所は沐浴室（体を洗う部屋）の設置など、0歳児保育の国の基準を満たしていないため、対象を0歳児からしなかつた。

なお、喜多方市など近隣市町村も、一時保育の対象は1歳児からとしている。

- (2) 災害や疾病である。
- (3) 通常保育の保育料免除については、規則で具体的に規定していないが、この一時保育事業については、規則で規定するか検討したい。
- (4) 非課税世帯の通常保育の保育料1カ月分を26日（1カ月に児童を保育所に預けている日数）で割って算出した。

なお、課税世帯の千円についても同様の考え方である。

(5) 保育所入所対象年齢である満2歳以上の児童は、ほとんど保育所に入所している。0歳、1歳児では40人くらいの児童が入所していない。

国民健康保険税率改正

町民平均は前年度比、1人当たり5800円、1世帯当たり1万3500円の減

国民健康保険税（国保税）は、毎年、その年に見込まれる医療費総額から、国・県からの支出金などの収入を差し引き、その不足分をまかなえるよう、税の収納率も考慮し算出します。

さらに、その総額を、所得割（前年の所得に応じて算定）・資産割（その年度の固定資産税額に応じて算定）・均等割（国保加入人数に応じて算定）・平等割（一世帯で定額に算定）の4つの区分に分類し、それぞれ全体のどのくらいの割合にするか検討します。

その4つの区分は、これまで、おおむね所得割40%、資産割10%、均等割35%、平等割15%で、所得割と均等割で全体の50%、均等割と平等割で50%となるように算定してきました。

しかし、今年度は不況の影響で加入者の前年の所得が大幅に減額となり、例年どおり所得割を全体の40%とすると、所得割の税率が大幅に高くなり、不況の影響を受けず例年

国保税率

区 分		平成22年度	平成21年度
医 療 分	所得割	5.94%	5.44%
	資産割	29.51%	27.98%
	均等割	23,200円	21,200円
	平等割	19,900円	18,400円
介 護 分	所得割	1.65%	1.48%
	資産割	11.00%	10.78%
	均等割	9,300円	8,600円
	平等割	5,400円	4,800円
支 援 分 (後期高齢者)	所得割	1.70%	2.42%
	資産割	10.00%	12.55%
	均等割	7,100円	9,400円
	平等割	6,000円	8,200円

どおりの所得であった人の税負担が増えることなどから、負担割合を見直しました。

その結果、今年度はおおむね所得割37%、資産割10%、均等割37%、平等割16%に設定しました。

それにより、税率は左表のとおり決定しました。また、1人当たりと1

世帯当たりの平均年税額は、支援分の税率の引き下げや所得の減少、また所得の減少による軽減（7割・5割・2割）の該当世帯の増加により、共に昨年度より減額となります。その額は、1人当たりで約5800円、1世帯当たりで約1万3500円になります。

長谷沼清吉議員
 収納率を91%と低く設定しているが、調整交付金の交付額に影響はないか。

町民税務課長
 調整交付金は1月末現在の収納率が前年を上回ると増額交付される。つまり実績で判断されるので、税率算定時の見込み収納率に関係がない。

清野興一議員
 (1) 国保税の収納率を91%とかなり低く見込み税率を算定しているが、国保税負担を町が重いと認識している表れではないか。

(2) 増税になる人はいないと理解してよいか。

町民税務課長
 (1) 不景気の影響で収納率は低くなると見込んでいる。高く見込み過ぎると収入不足が生じた場合、事業運営に影響を及ぼすことからこの収納率にした。

(2) 所得割の割合を下げたのは中間所得者層に配慮したからである。大きな負担が生じる層はないと考える。

6月議会定例会において、次の陳情1件を採択しました。

また、それに関する意見書1件を国会と内閣総理大臣に提出しました。

**請願
陳情**

採択した陳情
(敬称略)

「非核三原則」の法制化を求める議会決議・意見書採択の陳情
 陳情者 福島県原爆被害者協議会会長 山田舜臣

提出した意見書

「非核三原則」の早期法制化を求める意見書
 提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣

町政のここが聞きたい 議員は問う 11人が登壇

こんな質問をしました（質問順）

- 多賀剛議員
 - ①小学校適正配置と今後の取り組みは
 - ②ゴミの回収方法は
 - ③雇用対策について
- 目黒一議員
 - ①中山間地域等直接支払事業について
 - ②平成22年度水田農業改革推進対策について
- 荒海清隆議員
 - ①振興公社の運営について
- 青木照夫議員
 - ①診療所会計への繰入金について
 - ②ハザードマップの作成・配布について
- 五十嵐忠比古議員
 - ①なつかしCarショーについて
 - ②銚子の口と観光案内板の整備について
 - ③ゴミの不法投棄について
- 清野佐一議員
 - ①町政への取り組みについて
 - ②安全・安心のまちづくりについて
- 佐野悦朗議員
 - ①保健センター機能の一部移転について
 - ②町道下野尻発電所線について
- 武藤道廣議員
 - ①町職員の定年退職後の再雇用について
 - ②税と町政について
- 長谷沼清吉議員
 - ①町長の政治姿勢について
- 長谷川徳喜議員
 - ①小学校適正配置について
 - ②廃校校舎の利活用について
 - ③雇用について
- 清野興一議員
 - ①地方税滞納整理機構とは何か
 - ②行政執行上の諸問題について

問 なつかしカーショーの経済効果は

答 宿泊者の増加や道の駅の売り上げがアップした

五十嵐 忠比古 議員

問 西会津ふるさとなつかしカーショーについて問う。

今回から300円の駐車料金を徴収した経緯は。また、宿泊者や地元産品の売り上げ増等町内への経済効果はあったか。

商工観光課長

なつかしカーショーは「西会津クラシックカーで元気な町へ実行委員会」が主催であり、町が行っている事業ではない。

300円の駐車料金は、昨年度まで受けていた補助金が受けられなくなり、運営への協力的な意味合いで徴収したと聞いている。

経済効果については、宿泊者が70人で、当日の出店や道の駅での販売も好調とのことであった。

問 銚子の口の今後の



たくさんの人でにぎわった「なつかしCarショー」

整備予定と維持管理の方法は。また、現在放置されている伐採雑木の撤去の予定は。

劣化した観光案内板の修繕の予定は。

町長

今後の整備については、今年度、県の交付金を活用して木柵を設置する予定である。その他の整備については、補助金や財

源等を含め今後検討する。

維持管理については、周辺自治区やボランティア等と協議し対応する。伐採雑木については、これを使ってベンチ等を整備する予定である。観光案内板については、現在、設置している看板の点検作業を行っている。これが終わったら、優先度の高いものから修繕をする。

問 整形外科医師の委託料は

答 年間1320万円

青木 照夫 議員

問 西会津診療所では週2回午後、整形外科の診療を行っている。その診療を行っている医師への委託料は年間1000万円以上と聞いている。この金額は、医師の人員費のみか。あるいは医療機器等の経費も含めての金額か。

健康福祉課長

その医師への委託料は年間1320万円である。この委託金額は医師の人員費のみでその他の経費は含まれていない。整形外科の受診者は一日平均36人と多く、町民ニーズの高い科目である。地域医療サービスの充実を図るため、今年度も委託した。

問 先日町が配布したハザードマップ（土砂災害等の危険箇所を示した



整形外科診察室

地図)について問う。

(1) ハザードマップは自身が住んでいる地区のものだけが配られたが、町全体のマップ(地図)を配布する必要があると思うかどうか。
(2) 災害時の迂回路や食料の保管場所、緊急通信施設等もマップに記す考えはないか。

町長

(1) ハザードマップは町を4つに分割し、該当

地区のものを配布したが、住んでいる自治区とその周辺までのもので十分だと考えている。

(2) 迂回路は各自治区で調査してもらい、ハザードマップに記入してもらいたい。

食料の保管場所については町役場である。緊急通信施設としては防災行政無線があるが、すべてをマップに記載するのは無理がある。

問 振興公社への指導内容は

答 安定した経営のため支援している

荒海 清隆 議員

年連続黒字決算となった。しかし、今後も不況の影響で売り上げの減少が予想されることや、累積欠損が約1740万円あることから、安定した経営ができるよう支援したい。

問 なつかしカーショウの実施主体は。町との関係は。

商工観光課長

このイベントの主催は、振興公社、商工会、観光協会、飲食店組合など町内にある17団体で組織する「西会津町クラシックカー」で元氣な町へ実行委員会である。町は、交流人口の拡大や地域活性化が図られる事業なので「後援」をしている。



振興公社が管理している「さゆり公園」

問 町は(株)西会津町振興公社の基本的な運営方針と経営状況をどう捉えているか。また、振興公社に対し、どのような指導をしているか。
商工観光課長
振興公社の基本的な運営方針は、地域経済活性化の先導的な役割を果たしていくことだと認識している。
経営状況については、平成21年度決算は587万円の黒字となり、これで5

問 協働のまちづくりの進め方は
答 町民提案制度や町政懇談会を通して

長谷沼 清 吉 議員

協働のまちづくりを進めるにあたり、町民提案制度や町政懇談会を通して町民主役のまちづくりを進めている。

問 議会または議員との関係をどのように深めていく考えか。

町長 議事機関である議会と執行機関である首長はまず、互いの役割と責任を

果たし、理解と信頼関係を深めていくことが大切である。

そのためにそれぞれの広報広聴機能を使い、議会の本会議や全員協議会を通じて議論し、町政運営をすることが重要である。互いの立場を尊重し、対話と協調を重視することにより、信頼ときずなが深まっていくと考える。

問 まちづくり基本条例を尊重しているか。
また、協働のまちづくりの進め方は。
町長 私は、3月議会定例会の所信表明で「まちづくり基本条例のもと、町民・議会・行政の三者が互いに信頼を深め、役割と責任を自覚するような協働のまちづくりを推進する」と誓っている。



町政懇談会（黒沢自治区）

問 健康支援係事務室の移転理由は

答 他の係との連携を密接にするため

佐野 悦 朗 議員

問 (1) 上野尻の保健センター内に事務室があった健康福祉課健康支援係が、野沢の役場に事務室を移転した。その理由は。

(2) 保健センターの旧事務室は現在、物置になっている。また、乳幼児健診を行う研修室はガラスが破損したり、カーペットが汚れていたりしている。これらを改善する予定はないか。

健康福祉課長

(1) この理由は、保健・医療・福祉等の国の制度が大きく変わり、健康福祉課の他の係と連携を密にする必要が生じているからである。

例えば、健診については、国民健康保険事業として実施することになり、国保医療係との連携が必要になっている。また、



役場南庁舎に移転した健康支援係

問 下野尻と上野尻発電所を結ぶ町道にガードレールと側溝のふたを設置する考えはないか。

建設水道課長

ガードレールの設置については、除雪の排雪場所を考慮しながら、検討したい。側溝のふたについては、道路幅の狭い箇所にかけるようにする。

福祉介護係との関係では、介護予防や高齢者・障がい者・母子福祉などの関係で、協力して対応しなければならぬ事例が増えている。

(2) 3月議会で研修室のフローリング等の改修費用を計上した補正予算を議決してもらっている。今年度に繰り越して事業を行い、現在は、設計等の事務を行っている。

問 町民バス料金を統一する考えは

答 町全体の料金を見直しを行う際検討する

清野興一 議員

問 町民バスの料金は100円と200円の二種類ある。元々町民の足の確保のために始まった事業であるので、料金を統一できないか。

町長

町にあるさまざまな料金の見直しを今後行う予定である。町民バスの料金もその際併せて検討する。

問 町は奥川健康マラソン大会の実行委員会に補助金を交付している。

しかし、奥川健康マラソン大会の主催は町・町教育委員会・福島民友新聞社であり、実行委員会は主管となっている。主催が町であるなら町がその経費を直接支払えばよく、補助金を交付する必要はない。この状態を改める考えはないか。



町民バス

教育長

実際に大会を運営しているのは、実行委員会である。実施主体である実行委員会に補助金を交付するのは、地方自治法をはじめとした法令・規則に違反はなく、適正である。

しかし、町等主催者として実行委員会の関係について整合性を図る必要があると考えるので、来年度からは実行委員会を名実ともに主催者とする。

問 小学校統合の今後のスケジュールは

答 平成24年4月に統合、校舎は暫定的に野沢小

多賀剛 議員

築し、完成するまでは野沢小学校を活用する」などの基本方針を定めた。今後は学校名の決定、校歌・校章の制定、スクールバスの運行計画の策定などの作業を進め、統合に向け準備する。また、今年度に新校舎の基本構想の策定、来年度に基本設計を行う。

問 ゴミの収集について問う。

(1) 収集回数を増加することはできないか。また、冬期間収集を行っていない箇所の収集を実施

できないか。
(2) 資源ゴミ等について常設のゴミステーションを設置できないか。

町民税務課長

(1) 収集回数については、地域でのゴミの量や種類を調査し、検討する。冬期間については、今年度から、できる限り実施する。

(2) 町民の利便性向上にはなるが、ゴミの種類によって収集日を決めることで、環境に対する意識の向上が図れるというメリットもある。慎重に検討したい。

問 小学校適正配置審議会は町に、「教育効果を高めるために、早期に5校を1校に統合するのが望ましい」と答申した。統合までのスケジュールは。

企画情報課長

町は答申を受け、教育委員会と協議し、「小学校を統合し、平成24年4月に統合する」「校舎は西会津中学校の隣接地に新



運動会（尾野本小学校）

問 統合小学校の校舎は野沢小を利用すべき

答 審議会の答申を尊重し、新築する

長谷川 徳 喜議員

問 小学校適正配置審議会は、「早期に5校を1校に統合するのが望ましい」と町に答申した。その答申は年々減少する小学生的状況からやむを得ないと思う。
しかし、中学校の近くに新校舎を建設することについては、町の財政状況から反対である。2億円かけ耐震補強工事をした野沢小学校を活用すべきと思うがどうか。



耐震補強工事が完了した野沢小学校

企画情報課長

町は、小学校適正配置審議会の答申を尊重し、西会津中学校の隣接地に新校舎を建設することや新校舎ができるまで野沢小を活用することなどを盛り込んだ「小学校統合の基本方針」を策定した。今後、国等の有利な財源により整備ができるような場合にすぐに対応できるよう、今年度の基本構想の策定、来年度に基

本設計を行う。

問 小中学校の廃校校舎を活用して、高齢者の健康増進施設や山菜・特産品の加工施設を整備する考えはないか。

企画情報課長

貴重な提言だが、施設の活用方法によっては、耐震補強等の問題も生じる。費用対効果も調査し、使用可能な施設については、積極的に活用したい。

問 定年で退職した町職員を再雇用した理由は

答 職務の特殊性等によっては委託することもある

武藤 道 廣議員

問 不景気が続き、町内の雇用状況も改善されていない。そのような中で、定年で退職した町職員に町の業務を委託した理由は。

このことは、町長の雇用政策と矛盾しないか。

総務課長

職務の特殊性や専門性、経験を要する業務については、必要に応じて退職職員に業務を委託することもある。

雇用対策については、

緊急雇用創出事業やふるさと雇用再生特別交付金事業などの事業を行うとともに、雇用促進対策窓口を設置するなどの取り組みを積極的に行っている。したがって、町の雇用政策と矛盾しない。

問 (1) 税収減が町に及ぼす影響とその対策

は。

(2) 未収金の徴収対策と不納欠損処分(時効等やむ得ない理由により税金等を収める義務がないものとして扱うこと)の考え方は。

町民税務課長

(1) 徹底的な経費の削減と事務事業の見直しをするともに、どうしても必要な費用は財政調整

基金(貯金)を取り崩して対応する。

(2) 税等徴収対策本部会議を設置し、町長を先頭に管理職が徴収に努力してきた。今年は滞納処分の基準を作成し、行政サービスの制限も検討する。不納欠損については、県等の方法を調査し、積極的に活用する。



運転業務を委託している町長車

問 第3期中山間事業の変更点は

答 高齢化に配慮し、取り組みやすい制度に

目黒 一 議員

問 第3期中山間地域等直接支払事業について問う。

(1) 第2期との変更点は何か。
(2) 事業の参加予定数は。

農林振興課長

(1) 国では、高齢化の進行による取り組み面積の減少や協定の離脱、解散を懸念し、より取り組みやすい制度にした。また、生産調整未達成へのペナルティがなくなった。
(2) 6月下旬までに参加報告をもらう予定になっており、現時点では分からない。

問 今年度の水田農業改革推進対策(米の生産配分)の実施状況は。

農林振興課長

町では町水田農業推進協議会を開催し、今年の



中山間地域に支援を

配分方針を決定した。その内容は、水田耕作農業者に一律配分を基本とするが、認定農業者や担い手農業者、ミネラル米栽培者などには追加配分を行うものである。一律配分率は62%で、転作率は38%で各農家に通知した。5月末で約9割の農家から水稲生産実施計画書が提出されたが、町全体の生産目標数量を既に超過している。
町では未達成農家に「生産調整を実施し、米個別所得補償制度モデル事業の補償を受けるよう」に説明し対応する。

問 定住促進住宅等の防災対策が必要では

答 防災訓練の実施を検討する

清野 佐 一 議員



定住促進住宅

問 現在、定住促進住宅に23世帯、西林東住宅には25世帯入居している。(共に旧雇用促進住宅)
そこには、非常階段や防火水槽がなく、消火栓も2基しかない。安全対策がもっと必要ではないか。

建設水道課長

本施設は5階建てであり、そのことから防災対策は非常に重要だと認識している。

火災報知機については、

平成20年度に全部設置した。今後は避難手順マニュアル等を作成し、防災訓練の実施を自治区や関係機関と相談しながら検討したい。

問 町長就任から1年を迎えようとしているが、今日までの成果の評価と感想は。

町長

「町民との対話」「地域経済の均衡あるまちづくりにみんなの声を聞く町

政」を基本理念に町政運営をしてきた。

選挙のマニフェストについては、順調に実現していると思っている。

しかし、町並み景観事業など多大な予算がかかる事業はまだであり、取り組むべき課題は山積んでいる。1期4年でどれだけ実施できるか難しさを感じているが、前向きに一つひとつ取り組んで行きたい。

インタビュー

このコーナーでは、各方面で活躍されている町民の方々をインタビューを通して紹介します。

今回は、町の話題を掲載したブログ（インターネット上の日記）が人気の齋藤優貴子さん（菅本）です。

— ブログを始めたきっかけを教えてください。

テレワークセンター2号館にある㈱フロントラインという会社に勤めています。その日々の活動や大好きな西会津町をPRするために始めました。

仕事やプライベートで町内のイベントに参加したり、町内各地を訪問しています。今まで知らなかった町の良さを知りました。町内外の大勢の人に西会津町を知ってもらいたいですね。



「なつかしCarショー」で自衛隊の車両に乗る齋藤さん

プロフィール

住 所：萱本（尾野本）
年 齢：26歳
家 族 構 成：祖父・父・母・弟の5人家族
家 族 趣 味：食べ歩き・バイクのツーリングなど多数

— ブログに載っています。ですが、「さゆり中学」（町公民館が主催する町の歴史や自然などを学ぶ講座）にも参加されていますね。

「さゆり中学」に参加することが、町のことへの理解や地域の人の交流につながり、情報発信に役立てばと考えています。また、将来観光ボランティアのようなことをしたいので、それにもつながればと思っています。

— 西会津町について何か感じることはありますか。

同年代の若い人に元気があまりないように感じます。若い人は横のつながりが弱くなっているようです。

また、イベントや集まりが町の活性化につながればいいなと思います。— ご協力ありがとうございます。ご活躍を期待しています。

議会の動き

議会基本条例調査特別委員会設置

6月議会定例会に清野佐一ほか5名の議員から「議会基本条例調査特別委員会」設置の議案が提出され、全議員賛成し、この議案を可決しました。

議会基本条例は、最近全国各地の地方自治体で制定され、県内でも福島県や会津若松市などで制定しています。

その条例では、「議員間で政策討論会を開催すること」「住民との意見交換会を開催すること」などを規定しています。

今後、この委員会でも本町でも制定すべきかどうか検討され、来年の6月議会定例会までに結果が報告されます。

本特別委員会の委員は次のとおりです。

- 委員長 清野佐一
- 副委員長 多賀 剛
- 委 員 荒海清隆
- 委 員 青木照夫
- 委 員 目黒 一
- 委 員 武藤道廣



ただ今、本会議中

編集後記

サッカーW杯で日本代表が決勝トーナメントに進出し、日本中を熱狂と感動の渦に巻き込みました。

また、今年の奥川健康マラソン大会でも、炎天下、ゴールを目指し、ひたすら走り続ける選手の様子が、応援するたくさんの人々に大きな感動を与えました。

ところで、参議院議員選挙が公示され、各政党や候補者が熱い選挙戦を繰り広げています。各政党各候補者の考えを見極め、明日の日本のために慎重に一票を投じたいものですが、今の政治に求められているものは「感動を与えられる心」ではないでしょうか。

（武藤 道廣）

- 編集委員
- 委員長 荒海 清隆
 - 副委員長 青木 照夫
 - 委員 目黒 一
 - 委員 多賀 剛
 - 委員 武藤 道廣

にしあいづ議会だより

No. 110

発行 福島県西会津町議会
編集 議会広報特別委員会

〒969・4495 福島県耶麻郡西会津町野沢字下小屋上乙3261
e-mail gikai@town.nishiaizu.fukushima.jp
☎0241・45・4537